

2024 年度学生による前期授業評価アンケートへの

教員からのコメント

■ Web デザイン II / ゴパール サイ ラクシミ

皆さん、半年間お疲れさまでした。

学生に「Web デザインはどこからスタートしますか？」と聞くと、多くの方が「HTML コーディングから」と答えますね。

しかし、Web を含め、私たちが日常的に使うあらゆるもののデザインは「人間 = ユーザー」のために作られています。そして、それらはユーザーに何らかの「体験」を提供するものです。特に Web の場合、〇〇（例：大学）の情報を、ユーザーが求める分かりやすい形で提供するために活用されるのが「ユーザーエクスペリエンス（UX）リサーチ」です。

本授業を受けた方に同じ質問をされたとき、「Web デザインはユーザーエクスペリエンス（UX）リサーチからはじまります」と答えられるようになることを目的としました。

このポイントを理解し、毎回しっかりと課題に取り組んでくれた方々、また、授業についてポジティブなコメントをくれた皆さん、ありがとうございました。

これからも授業で学んだプロセスを活かし、自分なりのコンセプトを考え、UX リサーチと UI デザインに挑戦してみてください。

Web デザイン とのつながりについて

「Web デザイン I での学習内容とのつながりがほとんどなく、I と II で連なっている意義があまり無いように感じました。」というコメントをいただきました。

Web デザイン では、現在の大学 Web サイトの課題を明確にするために UX リサーチを行い、最終課題としてサイトマップの再設計と新しいレイアウト（ワイヤ

ーフレーム)の提案を行いました。本授業の内容および課題は、すべて Web デザインのプロセスと密接に関連したものでした。

Web デザイン は、HTML を用いた Web サイトのコーディング技術を学ぶ授業です。一方、Web デザイン は、UX リサーチを通じて Web サイトのターゲットユーザーを分析し、そのユーザーに適した情報構成を設計する方法を学ぶ授業です。つまり、Web デザイン が「Web サイトを作る技術」を学ぶのに対し、Web デザイン は「誰のために、なぜその形で Web サイトを作るのか」を考えるプロセスに重点を置いています。

学習の順番としては逆になっていますが、実際の Web デザインプロセスにおいては、UX リサーチを行わなければ適切な UI デザインを設計(HTML コーディング)することはできません。

これが、Web デザイン と の関係性です。

このような疑問が生じた際は、その場で質問してもらえれば、より詳しく説明できたかと思います。

授業中に質問しにくい場合でも、授業後に相談してもらえれば対応可能ですので、遠慮せずに声をかけてください。

今後は、こうした誤解が生じないように、授業の冒頭で Web デザイン とのつながりをより明確に伝える工夫をしていきます。

授業スピードについて

「授業スピードが早くて内容把握が忙しかった」、「ときおり、話を聞きながらメモを取る際、頭で考えながらメモを取っているので先生の話が抜けてしまうことが多々あった。」

といった意見もいただきました。

もし授業中に進行が早くてついていけないと感じた場合は、遠慮せずに声をかけてください。学生からの声があれば、対応しますので、気軽に相談してくださいね。

これからの皆さんの活動を応援しています！頑張ってください。